



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・韓国株ファンド／韓国厳選投資』は、このたび、第3期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてスパークス・韓国厳選投資マザーファンドを通じて、韓国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

< お問い合わせ先 >

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス
リテールBDマーケティング部
電話：03-6711-9200(代表)
受付時間：営業日の9時～17時
ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

< 閲覧方法 >

上記URLにアクセス⇒「スパークスの投資信託」より「投資信託一覧」の当ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

交付運用報告書

スパークス・ 韓国株ファンド

愛称 **韓国厳選投資** 特化型

追加型投信／海外／株式

第3期(決算日 2021年12月20日)
作成対象期間(2020年12月19日～2021年12月20日)

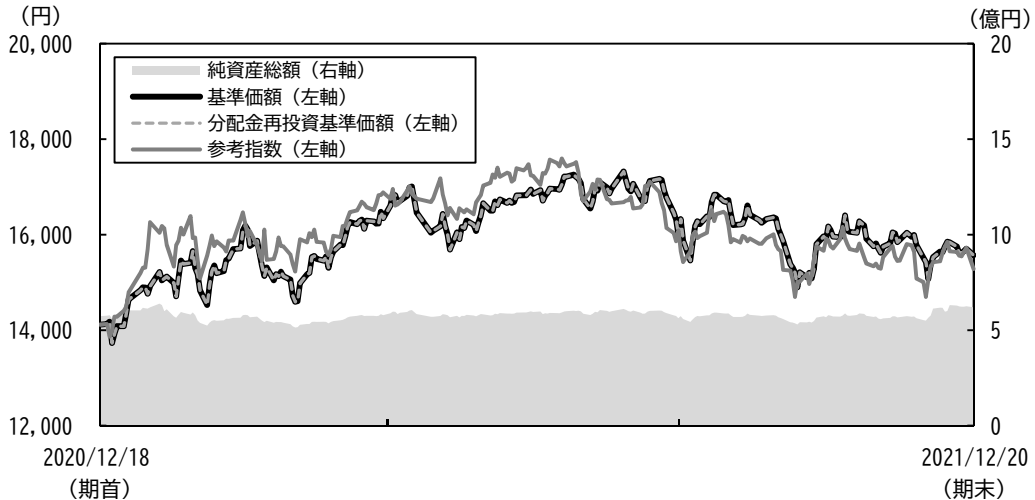
第3期末 (2021年12月20日)	
基準価額	15,572円
純資産総額	619百万円
第3期 (2020年12月19日～2021年12月20日)	
騰落率	10.3%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

運用経過

■ 基準価額等の推移 (2020年12月19日～2021年12月20日)

基準価額は期首に比べ10.3%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。



第3期首 : 14,117円

第3期末 : 15,572円(既払分配金0円)

騰落率 : 10.3%(分配金再投資ベース)

- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「KOSPI (韓国総合株価指数) (円ベース)」です。
- ※ 参考指数は期首(2020年12月18日)の基準価額に合わせて指数化しております。

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、スパークス・韓国厳選マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)への投資を通じて、韓国の優良企業に厳選投資を行いました。マザーファンドが投資している銘柄は、上昇した銘柄も下落した銘柄もありましたが、上昇した銘柄の寄与の方が大きくプラスに寄与しました。また韓国ウォンが円に対して上昇したこともプラスに寄与しました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2020年12月19日～2021年12月20日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社)	290円 (159)	1.815% (0.995)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(販 売 会 社)	(124)	(0.776)	
(受 託 会 社)	(7)	(0.044)	
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	33 (33)	0.207 (0.207)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	11 (11)	0.069 (0.069)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	41 (24)	0.257 (0.150)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・法定書類等の作成、印刷費用 ・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.013)	
(印 刷 費 用)	(15)	(0.094)	
(そ の 他)	(0)	(0.000)	
合 計	375	2.348	

期中の平均基準価額は15,974円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

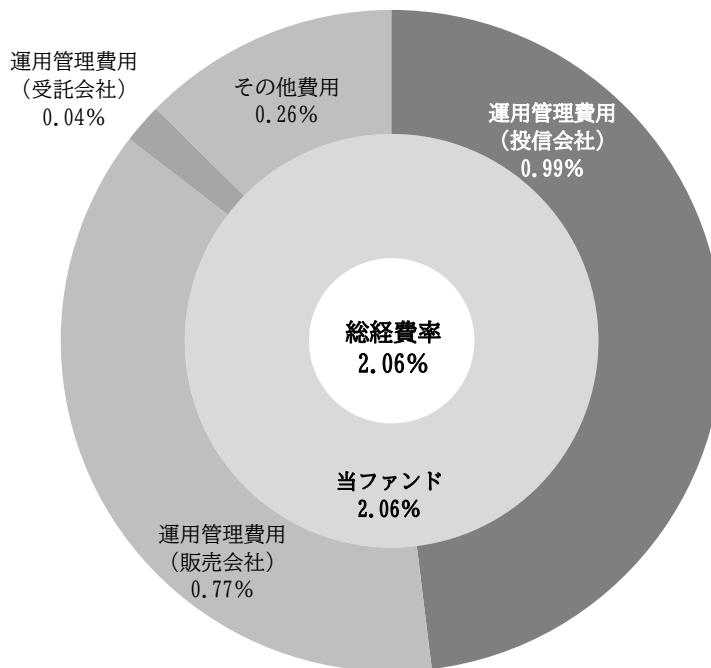
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.06%です。



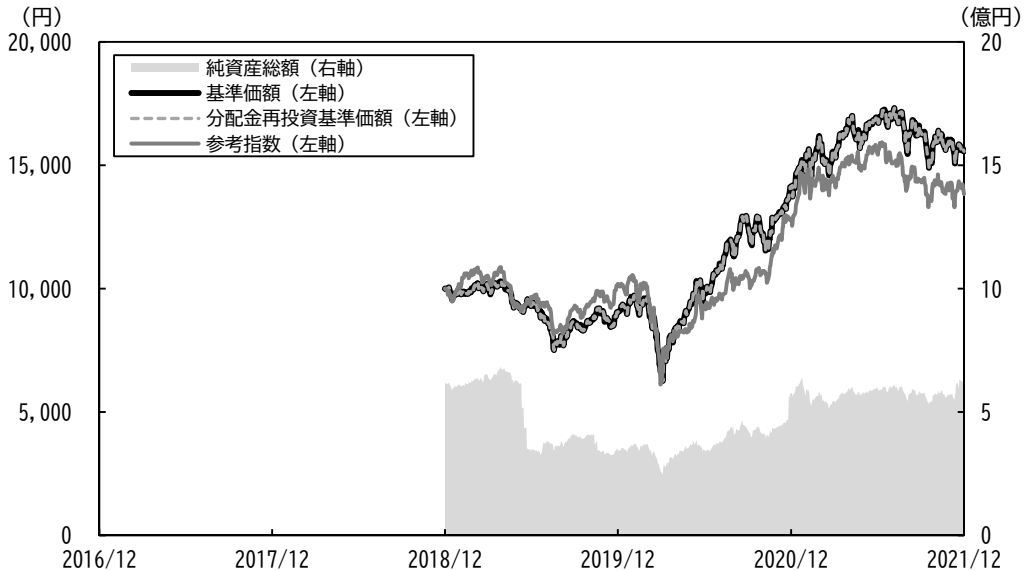
(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移 (2016年12月20日～2021年12月20日)



- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 参考指数は当ファンドの設定時の基準価額に合わせて指数化しております。

	2018年12月21日 設定日	2019年12月18日 決算日	2020年12月18日 決算日	2021年12月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,046	14,117	15,572
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 9.5	56.1	10.3
参考指数騰落率 (%)	—	0.9	26.7	8.2
純資産総額 (百万円)	616	351	573	619

- ※ 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。
- ※ 参考指数は「KOSPI (韓国総合株価指数) (円ベース)」です。
参考指数の詳細は、最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

■ 投資環境

期の前半は、韓国株式市場は上昇しました。米国連邦準備制度理事会(FRB)が2021年のGDP成長率の見通しを3月に上方修正し、同日の米国連邦公開市場委員会(FOMC)で今後2年間は利上げを行わない見通しであることが示されたため、韓国株式市場には安心感が広がりました。また、保守政党にして最大野党の「国民の力」がソウルと釜山という二大都市の市長選で圧勝したことから、建設業界と不動産業界の成長に対する期待が市場関係者の間で高まりました。

一方、期の後半には、FRBによる量的緩和の縮小、中国の「共同富裕(貧富格差の解消)」政策推進に伴う規制リスク、中国の大手不動産開発企業の恒大集団の債務不履行に対する懸念、新型コロナウイルスの変異株であるデルタ株の流行などが懸念材料となり、世界の株式市場は低迷し、韓国株式市場は下落しました。しかし前半の上昇の方が大きかったため、期を通じては上昇しました。

■ ポートフォリオ

<スパークス・韓国株ファンド>

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、韓国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。

当期のマザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドに組み入れられた資産の変動の影響を大きく受けました。

<スパークス・韓国厳選投資マザーファンド>

ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行いました。韓国の構造的変化を捉え、将来の成長機会に対応できる優良な韓国企業に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。

(主なプラス要因)

半導体の配線行程で使用されるプローブの消耗品、ピンやソケットなどを製造するメーカーである Leeno Industrials(半導体・半導体製造装置)は、第2四半期(4-6月)は四半期として過去最高業績だったため、株価は上昇しました。同社は2019年第3四半期(7-9月)から連続で増益を達成しています。同社が製造する製品は顧客の歩留まりを左右するものであることから、その微細度と精度によって同社の競争力は大いに高まっており、品質上の問題が発生しない限り、顧客が単に安価だという理由だけで精度面の実績がない他社製品に切り替える可能性は低いと、当ファンドは考えています。

韓国企業のKC Group社と日本の東海カーボンによって設立された合弁会社で、半導体プロセス材料として用いられるシリコンカーバイドリング(CVD-SiC Ring、ウェハの外輪に取り付けてウェハを固定するためのもの)のメーカーであるTokai Carbon Korea(半導体・半導体製造装置)は、NAND(NAND型フラッシュメモリ)の積層技術における競争激化を受け、主要製品であるSiCリンク(シリコンカーバイドリング)の需要が拡大していますが、同製品はシステム半導体の製造ではさほど使用されないため、ファウンドリ投資(半導体デバイスの生産工場への投資)の増加によって多大な恩恵を受けるわけではありません。それにもかかわらず、同社顧客のLam Research社(米国)とApplied Materials社(米国)がIntel社(米国)の米国半導体機器企業への多額の投資発表によって恩恵を受けるという見方から、株価は上昇しました。

(主なマイナス要因)

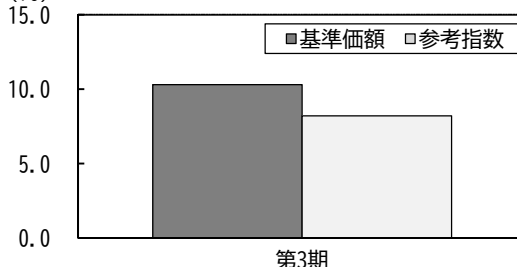
ウェハ表面の研磨に使用する化学機械研磨(CMP)装置や、同工程で使用するCMPスラリーを製造するKC Tech(半導体・半導体製造装置)は下落しました。しかしながら、CMP装置メーカーで唯一の韓国企業であり、CMP装置の本格利用が始まったのはわずか5-6年前のことです。同装置の利用はそれまでごく一部に留まっていますが、3D NAND型フラッシュメモリの登場により微細化ニーズが高まったことで、その需要は増加の一途をたどっています。当ファンドが同社に投資する理由は、同社が半導体の高集積化と高積層化の恩恵にあずかる見込みで、技術面の参入障壁が高く、競合企業が少ないためです。

当ファンドの組入銘柄のファンダメンタルズは、依然として損なわれていないと考えていますが、今後も慎重に注視し、投資目的との整合性を保っていく方針です。

■ ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)(%)



第3期 (2020年12月19日～2021年12月20日)

(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 分配金

当期の分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案して見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項目	第3期 (2020年12月19日～ 2021年12月20日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— (—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,571

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「-」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

<スパークス・韓国株ファンド>

マザーファンドの組入比率は、引き続き高水準を維持し、信託財産の中長期的な成長を目標に、積極的な運用を行います。

<スパークス・韓国厳選投資マザーファンド>

引き続き、ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行います。韓国の構造的変化を捉え、将来の成長機会に対応できる優良な韓国企業に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

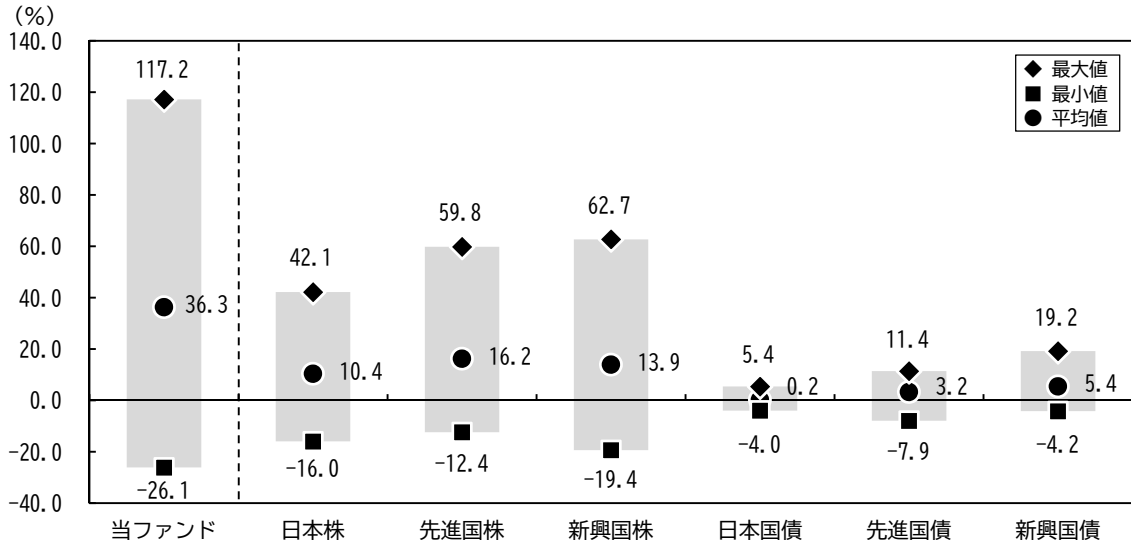
商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	無期限（2018年12月21日設定）	
運 用 方 針	この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行うことを基本とします。	
主 要 投 資 対 象	当ファンド	スパークス・韓国厳選投資マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	韓国の金融商品取引所に上場している株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
組 入 制 限	当ファンド	① 株式への実質投資割合には制限を設けません。 ② 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	① 株式への投資割合には制限を設けません。 ② 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>(1) 分配対象額の範囲 経費控除後の利子・配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>(2) 分配対象収益についての分配方針 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないこともあります。</p> <p>(3) 留保益の運用方針 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

※ 当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては35%を上限として運用を行います。

※ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

(参考情報)

■ ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2016年12月末～2021年11月末)



(注1) 当ファンドは2018年12月21日に設定しているため2019年12月から2021年11月の期間、他の代表的な資産クラスについては、2016年12月～2021年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※ 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

* 詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

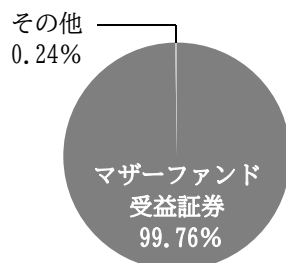
当ファンドのデータ

■ 組入資産の内容 (2021年12月20日現在)

< 組入ファンド >

ファンド名	第3期末
スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	99.76%
組入銘柄数	1ファンド

< 資産別配分 >



< 国別配分 >



< 通貨別配分 >



※ 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

■ 純資産等

項 目	第3期末 2021年12月20日
純資産総額	619,559,494円
受益権総口数	397,875,427口
1万口当たり基準価額	15,572円

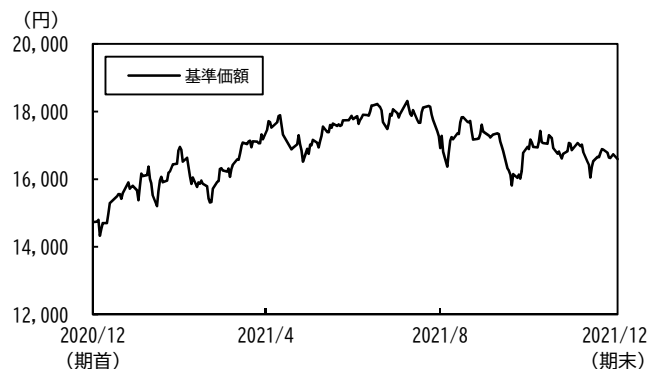
(注) 当期中における追加設定元本額は209,682,722円、同解約元本額は218,163,309円です。

■ 組入上位ファンド（銘柄）の内容

【スパークス・韓国厳選投資マザーファンド】（2021年12月20日現在）

< 基準価額の推移 >

（2020年12月19日～2021年12月20日）



< 1万口当たりの費用明細 >

項 目	当期 2020年12月19日～ 2021年12月20日	
	金 額	比 率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	35円 (35)	0.208% (0.208)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	12 (12)	0.071 (0.071)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	25 (25) (0)	0.148 (0.148) (0.000)
合 計	72	0.427
期中の平均基準価額は16,849円です。		

< 組入上位10銘柄 >

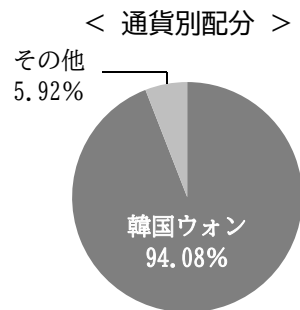
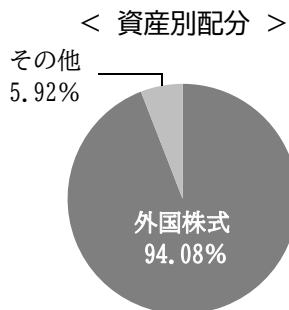
	銘 柄 名	比率(%)
1	Leeno Industrial Inc.	8.0
2	Samsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting	6.0
3	CS Wind Corp.	5.2
4	JoyCity Corp.	4.9
5	DOUZONE BIZON CO.LTD	4.6
6	MiCo Ltd.	4.6
7	Tokai Carbon Korea Co., Ltd.	4.5
8	Suheung Co. Ltd.	4.3
9	Kyung Dong Navien Co., Ltd.	4.2
10	Park Systems Corp.	4.0
組入銘柄数		29銘柄

※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、2ページ(1万口当たりの費用明細)の項目の概要および注記をご参照ください。

(注2) 基準価額の推移、組入上位銘柄のデータは2021年12月20日現在のものです。

(注3) 各々の表にある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2021年12月20日現在のものです。国別配分は、発行国(地域)または投資国(地域)を表示しています。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、国別配分比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

指数に関して

< 当ファンドの参考指数について >

KOSPI(韓国総合株価指数)は、韓国証券取引所の全上場銘柄(普通株)からなる時価総額加重平均指数です。

< 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時(1968年1月4日終値)の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

日本国債：NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社およびその許諾者に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関し、一切責任ありません。

先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

新興国債：FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

FTSE新興国市場国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※ 上記指数はファクトセットより取得しています。